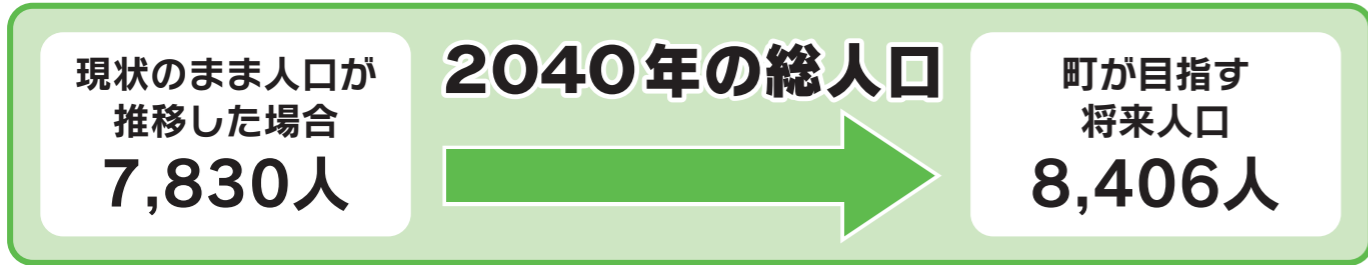


そこで町では人口減少の抑制を図り将来人口の目標を



総合戦略では、人口減少克服、地方創生のため3本の柱を基に成果指標を掲げ、具体的な施策を展開していきます。

1. 豊かで安定した暮らしを営めるしごとづくり

観光産業を主軸とした地域経済が循環していく仕組みを構築するとともに、農商工観光が連携した産業振興の取組や、地域産業を支える人材育成などに取り組みながら、安定した収入が得られる雇用の場の確保を目指していきます。さらに伊豆縦貫自動車道路の早期開通の実現から、交通アクセスの向上による地域の発展を図ります。

成果指標

数値目標	基準値	目標値 (H31年度)
入湯客数	841,478人 (H26)	875,000人
勤労者の働く環境づくりの満足度 [アンケート調査]	2.3% (H27)	5%
従業者数 [経済センサスー活動調査]	5,793人 (H24)	6,000人

2. 結婚や出産、子育ての喜びを分かち合える環境づくり

出会いの場の創出や結婚支援など家庭を築きやすい環境づくりを行うとともに、希望する子どもの人数よりも、現実に持つ子どもの人数は少ないという理想と現実の乖離を埋めていけるように、現状の子育て支援施策をベースにした妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援体制の充実や、地域における子育ての協力体制の構築、学びの環境の充実などに取り組み、出産・子育てしやすい環境づくりを目指していきます。

成果指標

数値目標	基準値	目標値 (H31年度)
合計特殊出生率	1.38 (H20~H24)	1.45
25~39歳男性未婚率 [アンケート調査]	58.6% (H27年度)	55%
25~39歳女性未婚率 [アンケート調査]	31.6% (H27年度)	29%

3. また来たくなる、住み続けたくなるまちづくり

山と海に囲まれた豊かな自然環境を有する本町の強みを生かしながら移住・定住の促進や、現在進行している町外の学生によるまちづくりに関連するプロジェクトなど、若者の発想とチャレンジ精神を応援しつつ町の活力、魅力の向上を図り、企業誘致や高等教育機関の誘致、転出抑制に向けた生活環境の向上に努めることで交流人口や移住・転入者の増加を目指していきます。

成果指標

数値目標	基準値 (H27年)	目標値 (H31年)
転出者数の抑制 [町調べ]	566人	1%低下
転入者数の増加 [町調べ]	518人	1%上昇

この「東伊豆町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」は、町のホームページで見ることができます。また、6月上旬に回覧板にてダイジェスト版を回覧しましたのでご覧ください。

お問い合わせ 企画調整課 企画係 ☎ 95-6202

人口減少・地方創生

「東伊豆町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」を策定しました

平成28年3月



地方が成長する力を取り戻し、急速に進む人口減少を克服するため、2040年(平成52年)までの人口の現状と将来の展望を提示することを目的とした「東伊豆町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」及び平成27年度から平成31年度までの5年間の基本的方向、具体的な施策をまとめた「東伊豆町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定いたしました。

減少し続ける人口

1980年に17,030人であった町の総人口は、2010年(平成22年)に14,064人となり、30年間で3,000人近く減少しています。(平成27年国勢調査人口速報の発表では12,627人)

人口減少すると私たち生活にどのような影響があるの？

このまま人口減少が進んだ場合、地域産業の担い手不足や消費市場の縮小といった産業への影響、一定数の人口の上に成り立つ医療や介護などの日常生活に必要なサービスの継続が困難になるといった生活への影響が懸念されます。

また、人口の減少に伴う税収減等による財政状況の悪化は、公共インフラを始めとする社会資本の維持や政策課題への対策が困難になる恐れがあります。

【このまま人口減少が進んだ場合の東伊豆町の人口推移と今後の予測】

